

令和6年6月市議会 建設水道委員会資料

所管事項調査

【目次】

	ページ
水道水PFASについて	2 ~ 3

上下水道局
令和6年6月

水道水PFASについて

1 概要

(1) PFASとは

有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称

PFASの中でも、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA(ペルフルオロオクタン酸)は、幅広い用途で使用

区分	用途
PFOS	半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤など
PFOA	フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤など

(2) 性質

分解が遅いため、地球規模で環境中に蓄積され、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されている

2 検査結果

長崎市の水道水原水における有機フッ素化合物の検査結果(令和5年度)

(単位:ng/L)

採水地点	検体	原水(PFOSとPFOAの合計値)
東長崎浄水場		5未満(※)
小ヶ倉浄水場		5未満(※)
手熊浄水場		5未満(※)
道ノ尾浄水場		5未満(※)
浦上浄水場		6
三重浄水場		5未満(※)
本河内浄水場		5未満(※)

※ 5未満とは、正確に測定できる最低濃度が5ng/Lであるため、それ未満の数値である場合に記載されます。

(基準値)

日本 暫定目標値:50ng/L以下

アメリカ 最大許容濃度:8ng/L(PFOS:4ng/L、PFOA:4ng/L)